

蔵王めぐみ幼稚園



住所：〒990-2334 山形市蔵王成沢45-1
TEL：023-688-2305
FAX：023-688-2082
<http://zaomegumi.com>

◎建学の精神／教育理念

1. 近年の脳科学は、「人間の人格(元もとの人柄)の基本型は小学校入学前につくられる」ことを明らかにしています。当園は、幼児教育が人間形成を左右する一大事業であるとの認識に立って、その務めに全力で取り組みます。
2. 健全な幼児の魂は、豊かな愛情と適切な環境・世話によって育ちます。教職員は一人一人を正しく理解・把握して幼児に寄り添い、家庭的雰囲気の中で育て、教え導くように努めます。
3. そのために少人数教育をこころがけ、子どもの魂に「基本的信頼感」がしっかり育つよう尽力します。自分と回りの友だちを等しく大切にできる基本的信頼感、教職員に愛され、認められ、受け入れられることで育ちます。強い基本的信頼感があつてこそ、幼児の能力はしっかり芽を出し、困難を乗り越えて成長し、豊かな人生をもたらします。
4. 当園は幼児本人や家族の幸福に資することを目標にしていますが、その務めに与る教職員も、責務を通して幸せな人生を築き、地域社会や国家・世界の平和と希望を求めたいと考えています。

◎特色

1. 基本的信頼感を高め、自律性と自発性を育てる教育をめざす。そのため、①少人数教育 ②家族的な配慮・愛情・世話の充実 ③主に縦割りのクラス編成による保育・教育、に努める。
2. 聖書にもとづく人間形成に尽力し、①自分を大切にするのと同様に友だち・家族・社会を大切にし、思いやりや共感する心、②自己中心を克服し、協力・協調する心、を育てる。
3. 脳神経系の生物学発達に沿った教育をめざす。①脳神経系の発達は幼少時ほど幼児間のばらつきが大きいので、縦割りクラス編成を行い、②非認知的能力(主体性・好奇心・探求心・集中力・忍耐力・創造力等)を高めて、やがて学校でとり組む教化学習(認知的能力育成)に備える。その一環としてモンテッソーリ教育法を取り入れ、大切な脳領域の成長を促す。
4. 幼児の身体と心が一体として健康を保ち、毎日の通園が楽しくなるように、尽力する。①モンテッソーリのおしごと ②自由遊び ③運動やダンス ④音楽や絵画工作 ⑤動物や植物のお世話、など、一人一人が積極的に取りかかれるように指導する。

◎沿革

昭和33年4月 山口良一・民子夫妻 蔵王めぐみ子ども園設立、初代園長 ジョセフ・ミーコー宣教師、同年10月 園長代理 山口民子、昭和37年11月 蔵王めぐみ幼稚園として認可され、同年12月 新幼稚園舎完成、昭和38年4月蔵王めぐみ幼稚園二代目園長 中山チネ、昭和47年10月 学校安全優良学校として山形県教育委員会・日本学校安全会山形支部長より受賞、昭和48年6月 音楽教育に尽力したことに対し、財団法人音楽鑑賞教育振興会より松本賞を受賞、昭和53年4月 三代目園長山口良一、昭和54年4月 モンテッソーリ教育法を導入する、昭和68年11月 創立30周年記念式典を実施する、平成4年10月 第47回国民体育大会出場、平成7年6月 未就園児クラス チューリップコースを開設、平成18年3月 山口良一召天、同年4月 鈴木温子四代目園長に就任、平成19年10月 創立50周年記念式典及び祝賀会を実施、平成22年10月 日本モンテッソーリ協会東北支部研修会を本園が担当、平成27年4月 鈴木温子の退任に伴い、山口賢一(医学博士・前新潟大学大学院医歯学総合研究科教員) 五代目園長に就任、平成27年8月 山口朝子(養護教諭) 副園長に就任、平成28年8月 板東光子氏(亀田平和の園保育園理事長・園長)を講師に招き、「親子学び会」を開催 演題は「保育におけるモンテッソーリ法活用の紹介」、平成28年10月 松本逸郎氏(前長崎大学大学院教授)を講師に招き、「親子学び会」および講演会を開催 演題は各々「平時・災害時における子どもの健康とくすりの使い方」と「日本ミツバチの生態・飼育」、平成30年1月「親子学び会」を開催「子どもの成長に大切な生活習慣を考えよう」と題して園長が生活リズムを規則正しく守ることやスマホ・デジタルゲームの脳に与える悪影響についてお話しした。平成30年11月 創立60周年記念行事として記念講演会と餅つき大会を開催 記念講演の演者は中原浩子氏(酒田南高校校長) 演題は「未来を拓かせる子育てについて一緒に考えませんか」だった。終了後、大曾根餅つき保存会の皆さんの指導協力のもと、参加者全員で餅つき大会を楽しんだ。

